

学習会

敗戦75年、朝鮮戦争から70年…

岩国基地の役割 その歴史と現実

10月30日(金)18:30～

会場:エルおおさか 709号
会場カンパ 500円

DVD上映と討論

岩国基地の拡大強化が止まるところを知らぬ勢いで進んでいます。2018年から米空母「ロナルド・レーガン」の艦載機 61機が移駐し、岩国基地の米軍機は約 130機と東アジア最大の米軍航空基地になっています。さらに現在岩国基地にある FA18D 戦闘攻撃機を F35B 戦闘機に機種交換すると称して、現状よりさらに4機増加の16機を配備しようとしています。

今回の学習会では、いま岩国基地がこれほど強化されている目的を、岩国基地の歴史を振り返る事で考察しようというテーマです。今年表題のように敗戦から75年、朝鮮戦争から70年になります。

岩国基地は第2次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争など過去の数々の戦争で、アジア・中東諸国に向けた出撃基地として、また後方支援基地として重要な役割を果たしてきました。現在の岩国基地の大強化が未来の戦争の可能性を見据えたものではないかと危惧しています。

新型コロナウィルスのパンデミックの影響は世界中で経済的な混乱を引き起こしています。新自由主義・グローバル化・市場原理主義といったこの30年間の経済政策が、もうけ第一主義の社会構造を作り、医療・福祉・防疫・衛生・環境など、人の生命と安全のためのコストが削られ続けてきたことが感染症という自然の災害をより深刻なものにしています。その中でも軍備拡大はとどまることなく進められ、日米軍の一体化が進んでいます。人々の不安や不満をてこにした排外主義の動きが一挙に強まり、自国第一主義が世界を席卷し、国家間の対立が激しくなっています。それは、戦争の危機の高まりに直結しています。

岩国基地の歴史から見えてくる教訓をしっかりと学び自分たちの闘いの中に活かしていきましょう。



岩国・労働者反戦交流集会実行委

Email: iwakunihansen@yahoo.co.jp

HP: <http://iwakunihansen.jimdo.com/>

2020 岩国行動 11月28日(土)、29日(日)岩国現地へ!